

無窓階の取り扱いについて

建築物の地上階のうち、避難上又は消火活動上有効な開口部を有しない階のことを無窓階といい、通常階とは消防法上の取り扱いが異なります。建物の外壁ガラスに厚手や特殊な構造の窓ガラス用フィルムを貼付した場合その対象となることがあり、その扱いはフィルム基材の厚みと材質でフィルムA、Bに切り分けられています。詳細はWeb (http://www.windowfilm.jp/law/fire_fighting.html) をご確認ください。尚、当該基準につきましては、東京防災救急協会発行の予防事務審査・検査基準にも掲載がありますが、貼付時の取り扱い方についての詳細は、各所轄の消防署に確認されることをお勧めいたします。

	フィルムA	フィルムB	多積層
NANOシリーズ	○		
ULTRA S800			○
SH15シリーズ		○	
ULTRA S2200			○
NANO80CP		○	
WWB001		○	
上記以外	○		

防犯性能

3M™ スコッチティント™ ウィンドウフィルムのうち「防犯性能の高い建物部品」の対象製品は、下記の製品です。

ULTRA S2200 / SH15CLAR-A / NANO80CP / SH15SIAR-18 / SH15MACR-I

[こじ破り] [打ち破り] [焼き破り] に対し、貫通に要する時間を長引かせることが可能です。

防犯性能試験 (防犯性能の高い建物部品目録掲載基準の防犯性能試験)
打ち破りについて7回以上、こじ破り及び焼き破りについて5分以上の抵抗性能を示す。

▲ 施工後の養生期間は1ヶ月程度必要です(冬季や空気が滞留しやすい場所などでは2ヶ月程度必要です)。養生期間中は本来の性能を発揮しません。

SH15CLAR-Aは、ガラスの厚みが3mm以上の複層ガラスにも施工可能です。

※詳細は、(財)全国防犯協会連合会「防犯性能の高い建物部品目録」<http://www.cp-bohan.jp/>をご覧ください。

「防犯性能の高い建物部品」とは

警察庁、国土交通省、経済産業省および関係する民間団体で構成される「防犯性能の高い建物部品の開発・普及に関する官民合同会議」では、防犯性能試験において5分以上侵入を防ぐことのできるものを、「防犯性能の高い建物部品」と定め、その目録を公表しています。[防犯性能の高い建物部品目録]に掲載された部品には、「CPマーク」(Crime Prevention = 防犯)を表示することができます。



防犯フィルム適合製品を施工した場合、CPマークの貼付に関して、日本ウィンドウ・フィルム工業会は下記の付帯条件を規定しています。「総厚が350μmのポリエステルフィルム製ウィンドウフィルムについては、総厚5mmのフロートガラスに貼付すること及び工業会が指定する接着剤を使用すること」とし、右記の施工条件を満たした場合、可動式及びFIX窓ガラスに貼付が可能です。

項目	施工条件	可動式 単板ガラス	可動式 複層ガラス	FIX (はめごろし) 単板ガラス	FIX (はめごろし) 複層ガラス
1	ガラス厚3mmの複層ガラス	—	○ (SH15CLAR-Aのみ)	—	—
2	ガラス厚5mm以上の単板及び複層ガラス	○	○	○	○
3	ガラスの露出部全面、もしくはは呑み込みを含むガラス全面に貼付	○	○	○	○
4	クレセントがサブロック機能付き	○	○	—	—
5	補助錠の設置	○	○	—	—
6	建築フィルム1級・2級の資格者による施工	○	○	○	○

○印は必要な施工条件を示す。

日本ウィンドウ・フィルム工業会

防虫効果

紫外線領域の光が誘因となる走光性を持つ昆虫の飛来を減少させる効果です。

※昆虫は一般に光源に向かって進む「走光性」という運動特性を持ち、多くの昆虫は、360nmの波長の紫外線領域をピークとし、300nm前後～500nmの光に反応します。

▲ 防虫効果のある製品は、走光性のない昆虫には効果がありません。また、環境によって防虫効果に違いがあります。フィルムの防虫効果は防虫対策の一助としてご利用ください。総合的な防虫対策については専門会社へご相談されることをおすすめいたします。

保証について

- 製造販売元および施工販売特約店は、保証期間中、ご使用いただいたフィルムの品質不良起因により、著しい劣化変色または剥離、膨れその他外観に著しい不具合の発生を確認した場合は、当該不具合が生じたフィルムの貼付再施工を無償で実施いたします。なお、本保証は、施工不良に起因して生じたフィルムの不具合には適用されません。
- ご使用者は、使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴うリスクと責任をすべて負うものとします。
- このカタログに記載した事項、技術資料は、当社が信頼している実験に基づいたものですが、これらの完全性については絶対的な保証はしません。また、ご使用者の誤用、乱暴な取扱い、または誤った手入れなどによって問題が生じた場合は、保証できません。
- 型板・すりガラス用フィルムにつきましては、P.28の「型板・すりガラス用フィルム施工時の注意点」をご一読いただき、施工前に注意点を十分にご確認ください。

※高所施工等、足場などの架設が必要な場合の再施工では、これらの費用は保証の中に含まれません。

保証期間

- 各製品の保証期間については、巻末の製品情報一覧をご確認ください。保証期間の開始日は、原則として当該物件の施工完了日となります。

免責事項

- 次のいずれかに該当するものは、本保証の対象外とさせていただきます。

- | | | |
|--|--|--------------------------------------|
| (1) ご使用方法やご使用環境に起因する不具合。
[例] 貼り替えが容易にできない部位に施工されたもの
・ フィルムに外力や応力が加わったことに起因するもの
・ 恒常的な高温・多湿環境に施工されたもの等
(※ P.21 「製品分類別の施工場所・環境などの注意点」をご確認ください) | (3) 人為的などの外部抗力による不具合。
[例] 施工主または第三者による保守、改築等に起因する場合 | (9) 有機溶剤、強アルカリ、強酸その他の薬品等によるフィルムの不具合。 |
| (2) フィルムの施工工事以外の理由で発生した原因による不具合。 | (4) 天災地変、事故、周囲環境等の不可抗力に起因する場合。 | (10) 下地の影響(劣化、錆、結露等)によるフィルムの不具合。 |
| | (5) 海外で施工・使用されているフィルムの不具合。 | (11) フィルム自体の機能および性能。 |
| | (6) 重ね貼りされたフィルムの不具合。 | (12) フィルム施工後の熱割れ。 |
| | (7) 印刷等の後加工を施したフィルムの不具合。 | |
| | (8) 通常のご使用環境下で生じた傷および色調変化。 | |